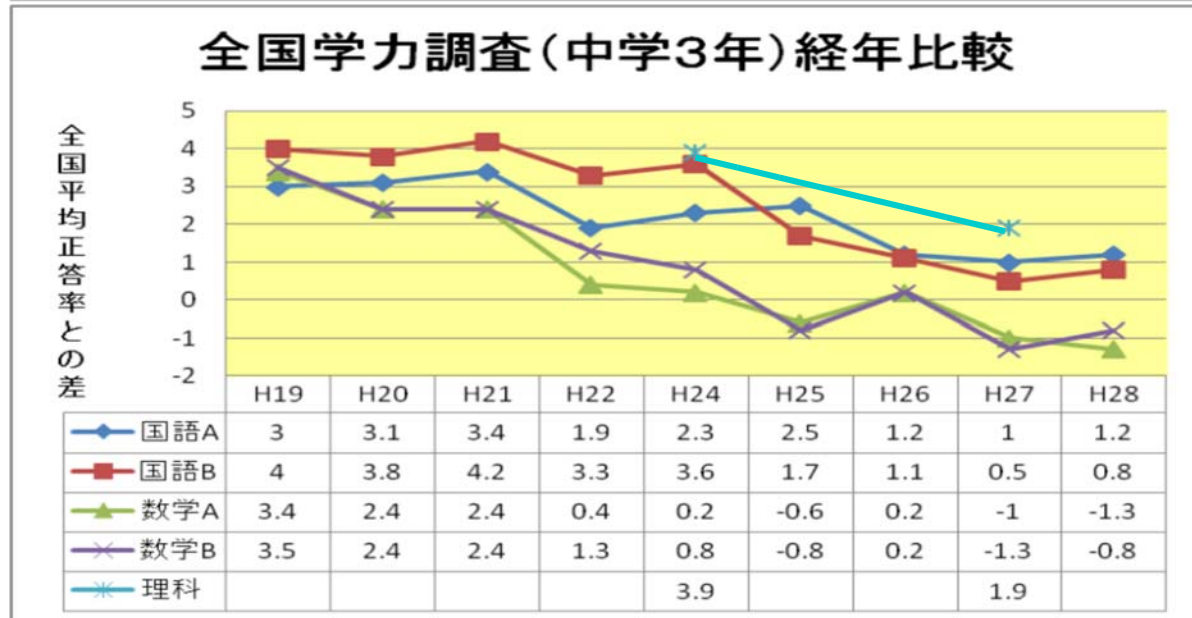
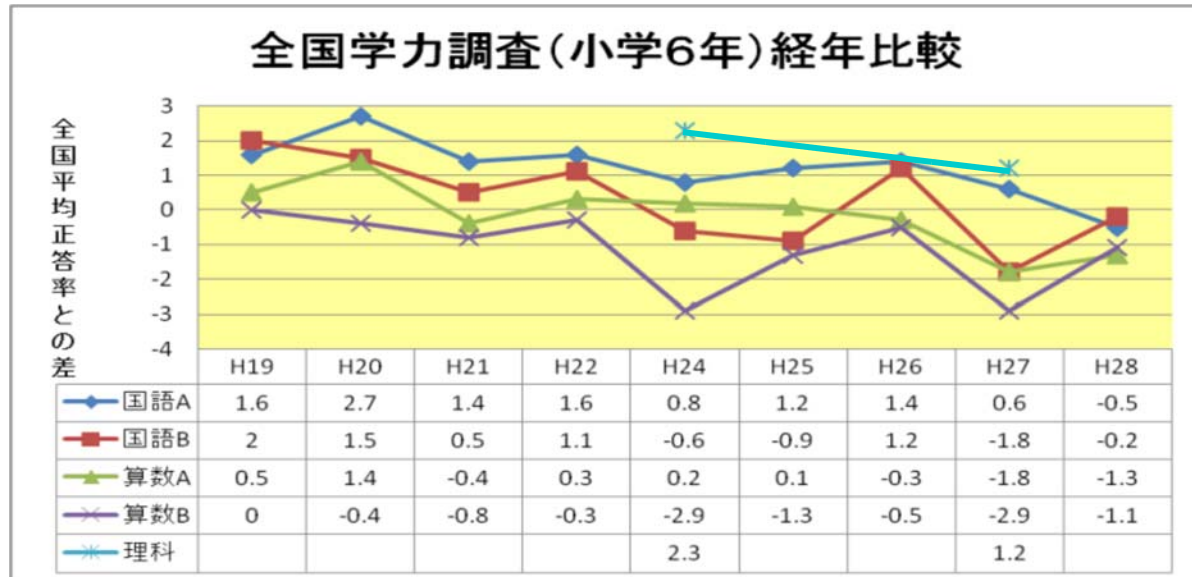
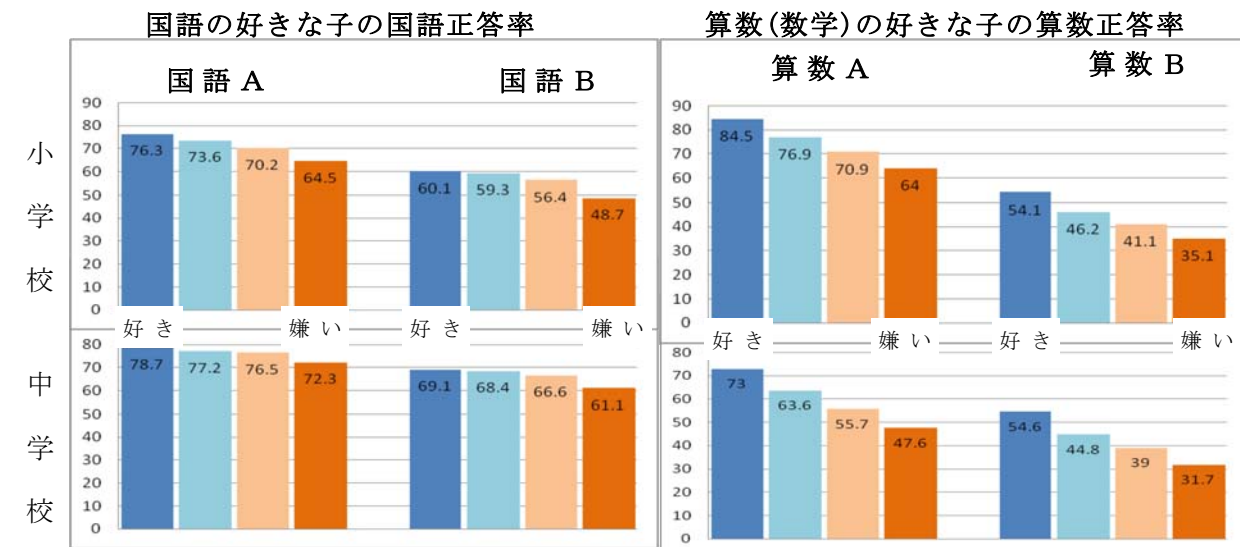


# 平成28年度 全国学力・学習状況調査結果について

## 1. 学力調査結果の経年変化



## 2. 学力調査結果と学習状況調査の関連



## 3. 学習状況調査の結果

### 小学校

項目	山形県 (H27)	全国 (H27)
1 読書への興味	78.7(76.7)	74.6(72.8)
2 家庭学習(2h以上)	15.9(16.1)	25.5(25.7)
(1h以上2h未満)	56.2(54.8)	37.0(37.0)
(30分未満)	4.1(4.6)	11.9(12.1)
3 携帯・スマートフォンなし	50.0(54.4)	38.9(42.0)
4 TV視聴(2h以上)	63.5(63.8)	57.1(59.2)
5 TVゲーム等(2h以上)	29.2(28.9)	29.7(30.2)

項目	山形県 (H27)	全国 (H27)
1 自尊感情	78.1(79.2)	76.3(76.4)
2 思いやり	85.8	84.6
3 将来の夢・目標	85.8(87.6)	85.3(86.5)
4 地域とのつながり	84.9(84.9)	67.9(66.9)
5 挑戦する気持ち	78.4(79.0)	76.1(76.4)
6 規範意識	93.3(94.1)	91.5(91.1)

読書への興味関心の高さがうかがえる。家庭学習の時間を満足の児童生徒が少ない一方で、二時間以上取り組んでいる児童生徒も少ない。また、TV視聴時間が二時間以上の子どもの割合が、小中学校ともに全国平均を上回っている。

重点として掲げている全ての項目で、全国平均を上回っている。特に、地域とのつながりについて、小学校で「ポイントと大きい中学校で「ポイントと大きい」という意識が育ち、学校と家庭が連携して取り組んでいくことが求められる。

### 中学校

項目	山形県 (H27)	全国 (H27)
1 読書への興味	71.0(69.2)	69.9(67.9)
2 家庭学習(2h以上)	28.1(28.4)	34.2(35.7)
(1h以上2h未満)	42.6(44.2)	33.7(33.3)
(30分未満)	8.7(8.1)	14.4(13.9)
3 携帯・スマートフォンなし	26.1(30.6)	18.8(21.4)
4 TV視聴(2h以上)	51.5(57.8)	48.7(55.7)
5 TVゲーム等(2h以上)	33.8(35.3)	34.9(36.3)

項目	山形県 (H27)	全国 (H27)
1 自尊感情	73.8(72.2)	69.3(68.1)
2 思いやり	86.2	83.8
3 将来の夢・目標	72.8(72.9)	71.1(71.7)
4 地域とのつながり	59.5(60.3)	45.2(44.8)
5 挑戦する気持ち	72.8(71.1)	69.6(68.8)
6 規範意識	95.1(95.8)	94.7(94.4)

## 4. 結果分析を受けての今後の対策

### 探究型学習の推進

主体的・協働的に課題解決に取り組む深い学びを通して、思考力・判断力・表現力を高める

- 推進協力校（16校）による、実践研究と成果の発信
- 「山形県学力等調査」を生かしたPDCAサイクルによる評価・改善システムの構築
- 県教委・市町村教委の全指導主事による探究型学習の研修会

### 教員の指導力向上

- 教育マイスター制度・・・ 研修リーダーの育成 ・ 校内OJTの充実 先進県への教員派遣研修
- 大学や専門機関との連携、職員派遣による研修

### 児童・生徒の日常的な学習の充実

- 県教育委員会作成の「単元末評価シート」「スパイス問題シート」「わくわく発見シート」等を活用した、発展学習や補充学習の工夫
- 家庭学習の充実 ・ 意欲を引き出す課題（宿題）の工夫
  - ・ 家庭学習の重要性の啓発
  - ・ 規則正しい生活リズムや学習習慣の確立

算数・数学は興味・関心と内容理解の双方に課題があった。「好きだから分かる」「分かるから好きだ」のように、興味・関心と内容理解が相互に作用し合う授業を展開していくことが必要である。興味・関心を喚起する教材の開発、主体的に取り組める学習活動の充実などが求められる。

# 家庭教育充実に向けた取組みの方向性について(案)

## 子どもの実態

〈山形県の子ども〉(H28 学力・学習状況調査より)

- ◆平日テレビ等の視聴2時間以上の割合  
 中学3年生 51.5% ⇒全国8位  
 小学6年生 63.5% ⇒全国1位

テレビ等に費やす時間が長い傾向

## 生活習慣の乱れ

- ・学習意欲の低下
- ・学力の低下
- ・食生活の乱れ
- ・心の不安定
- ・体力の低下  
等への懸念

## 親の実態

〈親の不安や悩み〉

(H27 子育て講座アンケートより)

- ◆子どもの生活習慣について 50.0%
- ◆子どもと接する時間の確保 26.9%
- ◆子どもとの関わり方 24.6%



## 〈考えられる要因 等〉

- ・子どもの生活習慣の重要性や子どもとの関わり方に関する知識の不足
- ・土日勤務やシフト制勤務など、仕事の事情で子どもと接する時間を十分にとれない家族の状況
- ・家庭教育への地域の支援体制の不足

## 国の方向性 第2期教育振興基本計画

- ◆基本的方向性：絆づくりと活力あるコミュニティの形成 ◆成果指標：家庭教育支援の充実（家庭でのコミュニケーションの状況や子どもの基本的な生活習慣の改善）
- ◆基本施策：豊かなつながりの中で家庭教育支援の充実（子どもから大人までの生活習慣づくりの推進）

## 県の方向性 第6次山形県教育振興計画

基本方針Ⅱ 豊かな心と健やかな体を育成する【主要施策4】教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進

- 【主な取組み】①社会全体で家庭教育に取り組む気運の醸成 ②幼児共育の推進 ③子どもの発達に応じた親等への学習機会の提供・充実  
 ④地域における家庭教育の支援者の育成 ⑤学習の機会が届かない親に対する支援 ⑥次代の親としての意識の醸成

## 課題解決の方向性

- 〈学校〉子どもの行動様式改善：学校と家庭の連携による子ども自身が生活習慣を見直すきっかけ作り
- 〈家庭〉大人の課題意識を醸成：保護者を含めた家族に対する学び・気づきの場の提供と充実
- 〈地域〉県全体での機運の醸成：地域による家庭教育支援の推進に向けたフォーラムの開催・PR活動

## 具体的な推進策

# やまがた子どもの生活リズム向上プラン



## 学校

### 共に育む保護者と学校

- ・保護者と教員の課題意識の共有
- ・PTA 活動による子どもの生活習慣改善活動
- ・PTA 研修会等、保護者の学習機会の確保
- ・意欲を引き出す課題（宿題）の工夫

## 家庭

### 保護者の接し方が子どもを伸ばす

- ・保護者の意識や生活スタイルの改善
- ・発達段階に応じた保護者の関わり方の確立
- ・学びや気づきの場の提供と充実
- ・親と子が共に学ぶ様々な体験活動の提供

## 地域

### 地域が家庭のサポーター

- ・家庭教育支援ネットワークの確立
- ・地域人材による家庭教育支援の推進  
（※ 見守り・相談活動・留守番 等）
- ・全県フォーラム等の開催 PR活動